カバー・表紙デザイン
たむら　しげる

MOE
コミックス

アタゴオル玉手箱 3

ますむら　ひろし

H. Masumura

ATAGOUL

●玉手箱メニュウ

想い出のスクリーン

3・2・1
それ
カチッ
…あれ
なんだ爆発しねえぞ
おかしいぞ
配線が切れているのかなあ
どーしてオレのが爆発しないんだ
なに！おまえもしかけたのか
うん、ボス、この線をうちにつないでよ
オイッどこにしかけたんだ
そこの水色のやつの所だよ
えっ早くその線はなすんだ

ドッ
うあ
ふう
こらっ
なんで勝手に
つないだんだっ
あら
パンツ
うっ
しっかりしろ
パンツ
うりゃ
おい
パンツ
死んでる
死んじゃ
いないよ
ヒデヨシ
医者呼んでくるんだ

いしゃ？いしゃってどこにいるんだ

しょうがない！そこで待ってろ
パンツを動かすなよ
おう

しっかし飛んでくる水晶をよけられないとは
もったらした猫だなあ…

パンツを動かすなとか言ってたぞ

ズズ
動かすとどうなるんだろ？

…うっ…う
ガッガッ

…こら…何やってんだ
あら気づいたわ

わっ
ブタが口をきいた

ブタ

めずらしいなあ・ブタが口をきくなんて・・
こら、パンツ
オレは猫だぞ

パンツ?
オレ、パンツなんかはいてないぞ

なに言ってんだよ
パンツはお前の名前だろう

オレの・・名前?
・・・オレが・・・パンツ・・・ってのか
なにすっとぼけてんだよ

お前にも、名前ついてんのか
オレは親友のヒデヨシ君だろ
あれ

パンツだいじょうぶかっ
君は?人間だな

え!?
テンプラこいつわけのわからんこと言ってるのよ

おい、パンツ
しっかりしろ
オレだ
テンプラだ
テン…プラ…？

記憶喪失のようだな

記憶喪失！

なに？
それ
彼は水晶が
頭にあたったらしい
から、その時の
衝撃で
自分のことも
君たちのことも
わすれてしまったんだ

安心しろ
テンプラ
オレが
行きつけの店
知ってるから
行きつけ？

先生、なんとか
なおして下さい
ウームこういうのは、
時間をかけて、きっかけを
待たないとなあ……

うん、あのね、
オレお日様ながめ
てんの好きでさ
それで
ながめてると頭の中が
金色になってきて
自分がだれだか、
わかんなくなるのよ

そういうとき
霧吹き岩場の店に
行くとなおるんだぜ

霧吹き岩場の店?
ハァ
ハァ
ここよっ
イエッ
あれ、また頭イカレたのか
オレじゃないよ きょうは このパンツなんだ
いっちょう たのむのよ
フーム水晶に頭をはさまれたのか
さあこちらへどうぞ
では、ここにねそべって下さい
は・・

あそこにねて
あの石がピッと
するといっぺんに
気がつくんだよ
へー
では、気楽にして
ああ…
トッ
トッ
シューーッ
うあ
ビッ
これが
きくんだよ
なーっ
おっ…
ようパンツ
気づいたか
毛だらけブタ
ぐ

おやじなおってねーぞ
どうもかなりの重症だな…

なんとか方法はないのでしょうか
こうなると…あの方法しかないな……

ジジ

外に吹き出していく青い粉は…なんなのですか
ウム…やがて正体がわかると思うが…これでパンツ君がなおるかは保証できないぞ…

いいかいテンプラくん
これから数日間はパンツ君につきっきりでいたまえ

そのうち突然パンツ君が歩きだす時がくる
そしたら彼を自由に歩かせるんだ

はい

5日たちました

コ・コウ・ヒ?

それにしても
これだけ粉を
吹くとは
なかなかの男
だな・・

なんだか
ひどくなって
きたみたい
ですねえ
あのオヤジのせいで
言葉もしゃべれなく
なったのよーっ

オレの名前くらい
想い出してほしい
よなあ

ケダラケブタ
ろ

コラ
スラスラ
言うな

(注)カタ様………カタツムリのこと、ヒデヨシが毎年、カタツムリを大量にシュポッ、シュポッと食うために、アタゴオルでは、ほとんど、絶滅しかかっている。

コラ待て
パンツ

止めるな
ヒデヨシ
歩き
ました
歩き
ました
ですよ
親方
落ちついて

ザ

あいつ、どこまで
行く気だろう
ぬれ猫
パンツくん

引かないよーっ
つれないのよーっ
う
あいつは
そう簡単には
つれないぜ

何だ
今の声!
お前と…
パンツの声だぞ

むしゃ
むしゃと
はっ

食いたに
いすあ

あら
テララ
また
金色のさかなの
季節か？
ザーーッ

あれっつりざお
買ったのか
オレの古文書が
バケたんだよ

バケたって
なに？

これは
去年の夏の
古文書つりざお
事件ですね

ああ・・
でも、パンツ君は
声はするけど
姿が見えませんねえ

くうーっ
いったい何
なんだろ！

・記憶が雨に
映っている・

き
記憶が雨に
たぶん…パンツの頭から吹き上がって空に舞い上がっていったあの粉が
雨にまじって・パンツの記憶を映しているんじゃないだろうか…

…そうか
それでパンツ君は声だけで姿が見えないんですね

質屋？
ああ、ヒデヨシがかりるから変だと思ったら質屋に入れてたんだよ
絶対バレないと思ったのよーっ

早くかえしなよ
読んだからもういいけどな・

！

おう・みんな
どうしたんだ雨の中

★印のコマで歌っているのは、おなじみビートルズの曲です。さて、その曲名は何でしょう。答えは、P152にあります。

想い出のスクリーンだね

夏のお出かけ

あ〜っ、お星さん
ピカピカしてるな

酢ダコちゃん

どうしたんだ
急に
ほほほほ

質屋
ドンドン

なんだい
こんな
おそく
酢ダコ
ちゃん
あっ
またか
こんなガラクタじゃ
いくらにもなんないけど
…しょーがねえなあ
銅貨8枚って
とこだな
ホ
おっホホ、おっホホ
あの、
「またか」って?
あいつは、
毎年いまごろに
なると、
家中の
ガラクタもって
やって来て
オレの顔みて
叫ぶんだ
酢ダコちゃんって
あれ
ヒデヨシ
何やってんだ
ザコ
ザコ

酢ダコちゃん

ドキッ

「夏のお出かけ」じゃないか
なんかそうみたいだな
夏のお出かけってなんのこと?

やあツキミ姫
毎年今ごろになるとヒデヨシはね、酢ダコちゃんって叫びながら森の中に入っていくんだよ

何しに行くのかあとで聞いてもあいつすあーっぱり覚えてないもんだから

オレたちは夏のお出かけと呼んでいるんだ
夏のお出かけかあ…

おっホッホッホッ
ジャラ
ジャラ

ずいぶんかくしてたんだなあ
でもみんな、使っちまうんだもんなあ・

そうた
月見姫がいれば森の奥で何しているのかわかるかもしれないぜ

お菓子の次は紅マグロか

年中ぬすむことしか考えてない奴が、金はらったりすると
魚屋も気味悪がるよな

すごい所だ
最初あいつを追いかけた時は、この辺で見失ったんだよ

問題はこの先にあるんだ

あ

ムラサキ毛針の林だ

ここから先はヒデヨシしか行けないわけだ

なにしろ、あの毛針にふれたら、体の神経が切れて、死んでしまうからな
いくらなんでもこの林の中に入っていくのはムリだぞ

やっぱりツキミ姫でもムリか・・

ザリッ
ザリ
ザリ

あっ針が腕に

しかしすごい体だなあ
あいつこの世の生き物なのか?

…よし!こうなったら草鏡をやろう
草鏡?

ザッ
ザッ

テンプラくんその辺から重しになる石持ってきて

長くはきついから
時々、休みながらやるぞ
あっ
ヒデヨシが
写っている
これが
草鏡…

ホホホ
あらん
なんだ…
ここは…？
なんでオレは
こんなもん？
シクッ
ズッ
ぶっ
うーっ

これが怪物
ヒデヨシ様た
念のため
コン
何度見ても
でっかい奴
だなあ
肉の山たべ
フヨブヨ
してんなあ
こらあぶないぞ
落ちろーっ
くすくって
みっか

(注) 豆猫族の言語イントネーションは大変お伝えしにくい 地球でも非常によく似たイントネーションを使う地域があるので、実感を求めるお方は、日本の東北地方人、特に、山形県置賜地方の人々に読んでもらうと良いとみす

村の外に出てはだめなワケはな
こういう悪さをする奴がいっからよォ

オレなんか甘い方だぞ
知らないなテンプラやツキミ姫を

テンプラやツキミ姫

そうさ…
オレがこの村の物を食っちまったそのワケはよォ…

テンプラとツキミ姫がオレの食い物を
みんなおそって食ってしまうせいなんだあ

早くこのヒモとかないとふたりがやって来てお前たちをこらしめるぞーっ
どどどしたらいーべ？
わっわしらにはペジナ様がいるぞ

あっペジナ様だ

村長、何をうろたえているのだ
はっ早いとこヒデヨシ様をだまらしておこやい！

ウム
彼の好きなタコの風せんを用意しろ

ホラホラ、ツキミ姫が村をおそうわよっ
行くぞバケ猫
このタコをよーく見るんだ
タコが近づいて来る
だんだん…だんだん…近づいて来る
…お前は、我々のことは覚えていない…
…覚えていない…
…そして…新しい夏が来たら…
ありったけのお菓子と…紅マグロを持って来る…いいな…
…合言葉は？
…酢ダコ…ちゃん…
…よーし…
諸君
ただちに浮きま花をとりつけたまえ

※おしょうしなっし　豆猫族古語で「ありがとうございます」

ら

来年も行くんだろうなあ
あの催眠術は強力だったからねえ

…なんでこんな所にいるんだ…？

たしか…オレは家で…

おかしーなー

ヒデヨシは催眠術のせいでほとんどわすれていたのですが
少し覚えていたのです

そしておもわずお月様に向ってつぶやいたのです

酢ダコちゃん

水色の避暑

この沼の底には
本当に

みじん貝の笛ってのが
沈んでいるのかな

底にもぐって探してみないと
わからないけど……
アタゴオルの昔話は
たいてい本当だから
あるんじゃないかな

どんな音色が
すんのかねえ

ドブオッ

あー涼し

今年は
いつまでも暑いなあ

まったく
だわ
水の中にいる時は
いーけどすあ

外に出ると釜ゆでアタゴオルだもんなーっ

オーイ
あれツキミ姫だ

一緒に泳がないかぁ

風鱗キノコを見つけたぞォ
はっ

風鱗キノコ?
そう、この近くで見つけたんだ

…どんなキノコなんだい?

薄青い楕円の紋様がついてるぞ

それをオレに運んでほしいわけねーっ
家には冷たいブドウ水が待ってるぞーっ

あれはんめかんなぁ
ホラ、あれだよ

あれ・
テントダケだ
へえ
テントダケ

これ、何に使うんだい？

あんまり暑いから
涼しくなろうと
思ってね

涼しく！
昔はこれで
涼しくやっていたんだよ
わおう

んめ

これから
夜を作るんだけど

ていねいに分解口を
作らないと
細胞がこわれてしまうんだ

なんだか
キノコの手術
みたいだわ

リーーン

リーーン

フーム
よく働く娘っ子だなぁ

ああ……汗が止まらない…
ブドウ水の飲みすぎだよ

あさってのお昼っていってたな

でーもあんなキノコで本当に涼しくなるのかねー
フーム……

そうだっ親方とヒデ丸もさそってみようぜ
いーね

2日後
あじ～っ
らっ
あじょ～っ
どうなってんだ
今年の夏は
まず冷しコーヒー
飲んで行くべ
何んて
書いてあるんだ?
「あんまり暑いんで
いません―唐ちゃん」
せっかく
さそったのによーっ
大声出すと
よけい暑いぞ
ツキミ姫
本当に涼しく
してくれんのかねぇ

オーイ
出来たぞーっ
ハァ
ハァ

出来た!?
うん

これ一ぱい飲めば
もう大じょうぶだぞ

つへ
これで
涼しく
なれるのか
そう
だよ

ふう……
けっこううまいね
さっぱり味しねぞ

よし、
行こう
ジャボ
ぬっ?

服を着たままで
いいんだよ

なーんだ
水に入るなら
だれだって涼しく
なるわよーっ

そうかな
ジャブン
なにもぐるだとォ
ヒデヨシ行こう
よし
ドババッ
んっ
息っ
息ができるっ
どうっ

あれ、声がっ
ツキミ姉
これは!
フフ

家にはこんだ
風鱗キノコが
私たちの通底器に
なっているんだ

通底器

そう!
あのキノコが
呼吸している
大気を
今吸って
葉もキノコを
通して聞えるんだよ

スゴイや
これじゃずうっと
水の中にいられるわよー

オッ

なんだ
あそこに
見えるのは
行ってみよう

ヒデヨシ
笛が探せるぞ
イエッ
必ず
見つけちゃうのさ

かっ

いらっしゃい

思ったより早く
出来たんで
ふたりに飲んで
もらったんだ
フエーッ
そうだったのくお

さあさあ
おかけになって
冷たいリンゴ水を
どうぞ

くぴ

ふ〜っ
かくべつだ…
しみるわ

ここで一晩
ねむりましたが…
ユラユラしてて
気持ちのいい
ものですねぇ
へえ

月光が水底に
ボンヤリ射しこんで
いましたね
そう
そして、スッと消え
やがて夜明けの光が
流れこんでくると…

私 ひっさしぶりに
曲、作ってしまいました

ヒンヤリとした
水が…ユラユラン
ユラランと体を
ゆすぶって…
まったく
お魚気分
ですよっ

魚の気分か…

なんだか
うまそうな
気分だな…

フフッ
これ飲んだら
みじん貝の笛
探しに行こうぜ
行こう
みじん貝の笛？

うん
この沼の底には
大きな青いみじん貝があってね
中にはふしぎな音のする
紫色の笛が入っているという
昔話があるんだよ

昔話…
実はじゃな、
アタゴオル博物館の
館長がワシに言ったんじゃ

「昔話の笛が
沼に沈んでいる
わけがない」とな。
じゃが
このスミレが
探し出しちゃう
んじゃ…ホホッ

そういえば
どうした
ヒデ丸

オイラ、きょうの朝
親方が作曲をしている時
水底散歩を
したんですが

黄色いみじん貝
ばかりじゃなく
青くて大きな奴も
見かけましたよ

なんとっ

しばらくたって
おっかしいなあ

ヒデ丸、見まちがえたんじゃないのかねえ
たしかに見たんです

この辺だと思ったんだけどなあ…
あら

ねっ あったでしょ
ホホホホ えらいぞ ヒデ丸

ここに譜面がきざまれてますよ
えっ 譜面がっ

ぐっ

あったわよーっ

おかしな型ですね
けっこう重いけど…だれが作ったんだろうね

どんな音色がするんだろう
テンプラくん吹いてみて
よし
不思議な音色ですね
まるで波の中から生まれたような……
おだやかな……なつかしい旋律
あっ
みじん貝の子供だ
あっ あらっ
ならんでいくぞ

あれっ この並び!

これ ヒョウタン座ですよ

ホラ、あそこはウサギの耳座だ
おっ
そうか……
これはみじん貝が作る

水色の銀河だ

いい感じだね…
ホント

湖の中にも、宇宙はあるんだなあ
ユラユラしてる銀河の流れ

えーっ それでは 水の中に住む 無数の命と

みじん貝の 子供たちが作った 冷んやりとした銀河に……

かんぱーい

PINK BANANA MOON

イエ〜〜ッ
桃色三日月さん

ドフフフッ
たっぷり用意して待ってたのさっ

いつも、この辺なんだよねーっ

どうやら始まる予感がします
えっ…予感が…

頭のこのあたりがジンと熱くなりつつあります……

…桃色三日月の夜か…
天文台に言わせると太陽のしみの活動が活発になると月が桃色にそまるらしいんだ

それじゃ太陽のしみが親方の頭に影響をあたえているんでしょうか？

繊細だから

ふあっ

ウ〜ム・
なにしろ唐あげ丸さんの神経は

あっ始まった

親方しっかり
ホホホ

テンプラ君本当にしばらなくていいんですか
親方から原因調査をたのまれているからね

フホッホホッ

原因調査といっても
テンプラ…何か
あてでもあるのか

猫の目時計？
うん、唐あげ丸さんは
桃色三日月の夜になると
森中のいろんな物を
こわして歩くだろう…

そうだな…
猫の目時計のほかには
宝石灯・気分標示板
温度計・キノコ器…

ああ
猫の目時計だよ

なかでも一番多く
しかも粉々にこわしているのが
猫の目時計なんだ

そういえば この道行くと
あるな！
ああ オレが思うに
唐あげ丸さんの行動は
何か猫の目時計と
関係があるような気がするんだ

ハイハイ
おかわり
ですね‥

テンプラくん
止めなくて
いいんですね
バギギッ
うん
しかし
豪快に
ぶちこわすなぁ…

ヒデ丸、そのカナヅチどうしたんだい？
いつもは親方の頭を丸太でたたいてんですが、この頃は一発じゃのびないもので……

ホホホ　おかわり　1杯　2杯
ガシッ
木製の管に…ネジ・歯車…

ノム…これは、猫の目の瞳を輝かせるための鉱物群だな…
あれっ

静気石の一種だと思うけど…はっきりしないな…
そうだ…ヒデ丸、そのカナヅチ貸してくれ

…テンプラ…この石、何だろう？
ん？

銀色の……
なんだろう
この石

あっ

あ〜〜〜っ

はっ

あら…
ここは…
あっ親方
気がつきました
よーっ

あーっ…
またやっちまったん
ですか!!
どうやら…
あの石が
原因だったよう
だな
ああ

ホホホホホ

あっ
また
始まった
……おかしいな

そういえば、いつも投げている火薬石をまた投げてませんよ

親方はどこかに火薬石をかくしてるんだろうか?
それがどうもわからないのです

火薬石か…
フーム……

テンプラ、何考えてんだ?
唐あげ丸さんはいつも蓮々森の耳長岩のあたりで爆発させてるだろう…もしかしたら…

あそこに何かあるというのか!?
うん

蓮々森・耳長岩のちかく
あんら!なんでゾロゾロくっついて来てんだ
ホホホ
……よし

こまった時の…眠り花粉

あれ…
……どっ…どうし…

ホホホッ
待ってたわっ
この日のために花火屋からガッポリかっぱらって来たのよ
ブンブンまいてねっ
ギュッ
ブンブン
ブンブン
はい、銀貨1枚ねっ……ありがとう
ブンブン
…ハイハイ…ただいま
お勘定

あっ、唐あげ丸だ
また
こっちに
来るぞ
絶景じゃ
絶景なのじゃ
あらっ
ああ
火薬石を
投げてますよ
なんだ
いつもより
大量に
撒いてるな
こりゃ
ちょっと
危ないぞ
テンプス、
原因調査より
止めた方が
いいんじゃないか
そうだな
オイラに
まかせて
下さい
えっ
この日のために
カナヅチ投げの
練習をしたんです

ブン・ブン・ブン
ねらいを定めて…
それっ
ブーーン

助け船っ
ガキッ

あっ
ヒデヨシ
コラッ
何をするっ

秋の終わりの
カブト虫め
いーま
成敗してくれる

うあっ
あぶないっ
にげろっ
おっ

月が
かくれるぞ

成敗

どうしたんですか
テンプラ君

あら……
どうして
だろう…？

…三日月…
三日月が雲に
かくれたからだ

ハッ…

あっ気がついた

テンプラ
見ろ

ん？

あっ

さっきの石と
同じだぜ

これ……！
唐あげ丸さんが
火薬石をいつもこの辺で
撒きちらかしていたのは…

無意識のうちに
この岩を
ねらっていたんじゃないか

ああ…
オレもそう思う

…でも
この岩、さっきみたいに
なりませんね
たぶん……

三日月が
雲にかくれている
からだと思うよ

そうだっ！
ヒデヨシ！
そのカナヅチ持って
てつだってくれ
手つだう
のー？
この岩を
けずるんだ

雲が切れる前に
けずれたら
猫正宗1本だずよ
ややややるっ
すべての原因って…
その岩が
原因なんですか？

ああ
桃色三日月が
雲から顔を出したら
わかるはずさ…

ギュ
ツルしっかり
しばったかい

やったぜ
お

そろそろ
雲が切れるぞ

わっわっ私
本当にだいじょうぶ
なんだろうか!?
なんだか
心配だなあ

ホウホウホウ
あっ
親方

みみずくさん

パタパタ
お羽根でお先翟
あ

らら
なんだ
これはっ

月の光が集まっているんだ

ハッ
あっ

ヒデ丸、何が始まったんだ
親方が気がついた！

ぶつ

みんなつるにつかまるんだ

わおう
それ

わっすごいや
これどこまで登って行くんでしょう

月よ月まで行くのよ〜っ
これだけ重けりゃムリだろう

ああっ
いい感じ

これが……!
桃色三日月の原因……
この石だったのですか

……たぶん
この奇妙な石は
桃色三日月の夜になると
月光を集めたがる
性質を持っていたのだと
思います

そして、唐あげ丸さんの
繊細な感性が
この石の影響を
うけていたのだと
オレは思うのです

あら

ずい分、月光が
集まって来ましたね

ふふふっ
テンプラ
この形なんかに
似てると思わないか?

んーっ……
……?
何に
似てるんだい?

あのね
秋の夜空に
プッカリ浮かんでる

光のタンポポ

水いろの切符

植物って
不思議だな…

不思議？

どうして
植物をながめていると
心が落ちつくんだろう

フーム…
そういえば
そうですね

この世界は
わからないことで
いっぱいだなあ……

あーっ

おしい
実におしい
何がおしいんだ?

このキノコだよ
これさえ食えれば
一本で4・5日は
オレの腹も
泣かずにすむのによう
さすがのヒデヨシも
毒キノコは食えない
わけだ
くやしいのよーっ
おしいのよーっ

あれ

どうしたん?
この穴……
だれかがキノコを
ぬいたみたいだな

するとこのキノコを
食った奴がいるのかっ
いや、
食うわけはないけど
…どうしたんだろうな

ところで、テンプラ、
これからどうするんだ?
テマリちゃんが
話があるんだって
パンツも
呼ばれてるらしいけどね

うなぎ安いぞー

さむい冬にはドングリ酒がうまいよーっ

さーさーっこれがナベの実だっこれさえあればマズイ料理も

オーッ

よーっテンプラくーん

やあ

話って何だい?
実は

私の家の御先祖様はおかしな設計図を何枚か残しているんだけどね

私、季節から そのうちの一つを組みたててみたのよ
季節から?

「キノコの大耳」っていうやつなんだ

鳥見岩の所に大きな毒キノコはえてる所があるだろう
あそこのキノコで造ったらしいよ
えっ それじゃあの穴は…テマリちゃんがもっていった跡なのか

そう! その「キノコの大耳」ってのがとってもおもしろいんだけど
ふたりにぜひ聞いてもらいたいものがあるんだ

聞いてもらいたいもの?
へえ・・

これ造ったのか

こう見えても
私、工作に強いんです

星見石の粉末を注入してあるからね
あれを込れとくと腐敗しないんだ

ずい分、複雑な…
すべて御先祖様の考えたものなのよ

このキノコなんだか色が変だね

いいっ
始めるよ
グッ

たまいやーっ

お帰んなさーい

アタゴオルの赤一つね

(注)ごぞんじ・BEATLESのナンバー・(わからない人は表紙をよっく見ませうね)
ここにさがっているヒモを引っぱるとあのキノコの傘が
アタゴオルの森に散らばっている色んな音をひろうんです
(★3)
(注)あないどうりっぴいしにっちゆり
うっ
オレも引っぱっていいかい
ええどうぞ
ぐく
さんぐらーああ
おんちゅ
ぷりーっ
早く止めて
うあっ
ああ…なんてバカでかい声なんだ…
まさかオレ達に聞いてもらいたいものってのは
いまのじゃないよな
もちろんもちろん

私がふたりを
呼んだのは
これを聞いて
もらうためです

グッ

ムゼヌ・ト・ウロ・
キチロ・イチス・ヌ・
ウチレ・ズキア・ン
ムソラ・ナ……(注)

……なんだ
これは……？

何かの…
信号みたいにも
聞えるな
信号…？
だれかの声じゃ
ないのかな

ムゼヌ・ト・ウロ
キチロ・イチス・ヌ
ウチレ・ズキア・ン
ムソラ・ナ
…しかし…
なんの言語なんだろう

ヨネザアド古語じゃ
ないし…ナスナ文字
でもない…
テマリちゃん
これの発信
場所は？
それが
わからないのよ

ん…
待て…
わかるぞ

わかる?
ああ音量を
もっと上げてみて

★4
ウチレ・ズキア
ムソラ・ナ
あんええな
たっちゅうあああひ

ヒデヨシの
声だわ

たぶん、この発信音の近くに
あいつがいるんだ
そうか

ヒデヨシはどこで
練習してるんだ
たしか指切り沼の
モチの木のあたり

よし、
行ってみよう

ふう

よっ テマリ
やっぱり唄を聞きに来たのねー
断じてちがうのです

ヒデヨシ、この辺にだれかいなかったか？

いーや だれも いなかった ぞーい

おやん
ねえパンツ 宝物探してんのかっ

フーム …本当に何の気配もないな…
やっぱりあの言葉を調べるしかないようだな

ムゼヌ・ト・ウロ キチロ・イチス・ヌ ウチレ・ズキア・ン ムソラ・ナ
あれ、よく覚えましたね

さすが記憶の王様 テンプラくん

パンツ
オレは?
オレ?

あ～っ
ヒデヨシは
無記憶の大王
イエ

バシュッ
う

知らなかったわ
この沼に
あんなにおいしい
イバフ魚が
住んでいるとは・

待っててね
いますぐ
丸飲みにして
あげるから
ジャボ

あら
ズブブブ

うあ～っ
ぬけねえよ～っ
助けて
くれえ
何やってんだよ

足がぬけないのよ〜っ
底無し沼なら沈んじまうぞ
なあ、テンプラ あの言葉… 何ていったっけ

ムゼヌ・ト・ウロ キチロ・イチス・ヌ
ウチレ・ズキア・シ ムソラ・ナ…

ムソラ・ナ・と
わおう ぬけた
あ〜っドロ だらけだ

オレ洗濯 しちゃうわ
洗濯より オクワ酒屋で 熱燗一本が いいね

もう一度読んでみて

ムゼヌ・ト・ ウロ・ キチロ・

イチス・ヌ ウチレ・ズキア・ン ムソラ・ナ・・
・・・ふう・

・・・何かで聞いたこと あるんだが・・・ 思い出せない・・・
でも、一つだけ 覚えているぞ

えっ・・・ どの言葉だい

イチスっていう 言葉・・・・・
イチスは、たしか 「自分」を表わしている と思うんだ

「自分」

ジブンって なんだ?
ん〜っ
君の事・・・ 君自身の ことだよ

自分…のこと
ん～っ
私のこと・
これは唐あげ丸さんには、内諸にしておいた方がいいな
そうだな
親方はナゾ解きになると何も食わずに考えるから、やせるんだよな
ゲッソリとやせなさい
ブフフ
教えちゃうべ
教えたくても長くて覚えられないんじゃないの
ら
あっ
どしたおやじっ
酒こぼれたのかーっ
あれだよ
ぶっ
……
これは・古代の・・

水色の……
大ツノ貝…

大ツノ貝って
あんなきれいな
水色を
してたのか
学説的には
赤茶色に
黄色の斑点の
はずだが
パクパク

ウヘヘ

あっヒデヨン
コラッそっと
しておくんだ

こんなでっかい貝は、
たき火であぶれば
何日も食えるわよォ
バシッ

わっ
シュッ
待て
ジャボ
あーあ 逃げてしまった
魚も貝もみさかいない奴だなあ
わ〜ん
しかし蛇腹沼に大ツノ貝がいるなんて知らなかったなあ
なにしろこの沼はかなりの深さだからな
私、やっぱりあの言葉の方が気になるなあ・
つかまえてやる
絶対絶対絶対絶対
大ツノ貝もすごいけど

ムゼヌ・ト・ウロ・キチロ・イチス・ヌ・ウチレ・ズキヤ・ン・ム・ソラ・ナ…
なんとか解けそう？

ツキミ姫が言った「イチス」が「自分」という意味なら
ここから糸口がみつかるかもしれないな…

その言葉が発信されていた沼ってのはどこにあるんだい？
指切り沼だよ ツキミ姫、行ってみます？

うん

これ調べたいからオレは帰るけどテンプラどうする？
オレは化石博物館の館長に水色の大ソノ貝のこと話してくるよ

オレも博物館に用事があるのよ いっしょに行こうぜ
お前も用事!?

諸君の健闘をいのるぞ
じゃあな
またねーっ

しかし
ドロボウにしか入ったことのない

博物館に、なんの用があるんだ?
あそこに鯨捕りに使ったでっかいモリがあったよな

そうか、あれで大ツノ貝をつかまえようってのか?
さすがテンプラくん
大当り

あらん

何か大当りだよお前は、あの貝がどんなに貴重なものか全然、解ってないな

解ってるわよ、あのパッドリとふくらんだ肉!実に!実に貴重な肉なんだわーっ
すあ──っぱり解っとらん

なんだ

ロトロ草が
水色になってるわ
それも
この葉一枚
だけだ

この色、さっきの
大ツノ貝の色と
同じだぜ
どうしたのかな

ん?
おい
テンプラ

ここ?
うん

私の家の「キノコの大耳」が
とらえた、あの言葉は
このあたりから
聞こえて来たんだけど

ツキミ姫……
……
聞こえるぞ
えっ!
いったい…どこから
この沼全体から聞こえてくるんだ

沼全体！
どうやらこれは・・いそいで
あの言葉を調べた方がいいな

よし！
パンツ君の家に
行こう

あっ

木が ところどころ
水色になっている

ねえ、姫
ホラここから
管がのびて
きているわ

パンツの家
この記号を
これに
あてれば・・
ズキアは・・・

あれ・・

言語学の本が
水色になっている・
どういう
ことなんだ

花ビンの一部も…

くっ
とにかく
あの言葉を
調べよう

カリ
カリ

・そうか
32番だ
この記号を
32番言語表に
おきかえれば・
「イ」は…「ワ」…
「チ」は…「タ」…

イチスは…
…ワ・タ・シ…
…「私」・
意味になるぞ
すると・ズキアは
ジ・カ…ン

「時間」

キチロ…
キチロは・カタレ…
「語れ」だ

パンツくん
調子はどう？
解けたぞ
えっ解けたっ
ああ！あの言葉
ムゼヌ・ト・ウロ
キチロは・
ミズニ・テ・イレ・カタレ
すなわち…
水に手・入れ・語れ
水に手入れ
語れ
イチス・ヌ・ウチレ・
ズキア・ン・ムツフ・ナ・は
私・に・至る・時間・を・と
水に手入れ語れ
私に至る
時間を・と

・・・フーム……

パンツくん
言葉の発信原は
あの沼だったのよ
えっ

あの沼

「水に手を入れ」の
水って…あの沼の
水じゃないかな
あっ
そうか!

・・すると…「水に手、入れ語れ
私に至る時間を見せよと」は……

あの水を入れて・・
「私に至る時間を見せよ」・・と
……言え……

うん、そういう
ことになる・・
あの水に
手を入れて・・

あ・・

テンプラ

パンツ君、どうしたの？
テマリちゃん、ホフ、沼でテンプラがあの言葉を言うのをオレが書きとった時…テンプラは

…たしか沼に入って
ヒデヨシを引っぱろうと…水の中に手を入れていたの

それじゃテンプラ君が
早くっ早くっ
ドドド

テンプラが大変なのよー
えっテンプラが

こっちよこっち早くっ早く
いったいどうしたの

私に至る時間って…私に至る…

あっ
テンプラ君

こう
これが……

テンプラに至る時間なのか！

水色のイルカが、魚につながり……
カンムリ花がトンボに

いったいなんなのパンツ
これはなんなのよー

たぶんここに映っているのは
テンプラの体を形成している物たちのかつての姿だ・・

かつての姿?
そう

それじゃあの大ツノ貝は
あの貝を作っていった物がいまのテンプラの一部になっているんだ

大ツノ貝がテンプラに!

そうさ…無数の生物が生れ、死に
分解され合成され・

オレの家の花ビンの
一部も、あの本も
どこかで、今のテンプラと
つながっているんだ・・

生き物たちの
永遠のまじりあい

・・・・・・・・・
首をつたって
感じられる・・

オレの右手には
昔、セミの羽根だったものが
入っているし・・・・・

背中は
あの雲と
同じだったこともある・・・・・・

・・・・・・

いろんな姿に変わり
今ここにぶらさがっている
オレの体は

テンプラという
人間ではなくて・・・

この星そのものなんだなあ

粉雪音楽会

今年も明日でおしまいだなあ
そーよ、そして明日こそ、オレが勝利してしまうのすあ

ねえ、ところで、粉雪音楽会の賞品って何なの？

うははっ姫よ、それを聞いたらびっくりしてうまく演奏できなくなるからよしなさい！

私、あがったりはないけど……
ヒデヨシ君、その賞品、手にしてるところ考えてごらん

にゅふふ……

フーム…そんなものがもらえるのか
ツキミ姫がんばろうな

前祝いです

めずらしい…
唐あげさんがよっぱらってる

前祝いはオレなのよーっ
祝いましょう
明日の私を祝いましょう

私がいただく
ダッ

あの賞品はオレのものなのさーっ
粉雪音楽会は私のために開かれるのです
あはははいいぞーっ

わっ…ヒデ丸までよっぱらってる

ヒデヨシ君、明日の審査員の顔、見に行こうぜ

ようし
あいつを一発 おどかしてくるか

審査員って どこにいるんだいっ…?
ルリガ原に いるんだよ

えっ もう 来ているの?
そうよ! 来ているのよーっ ツキミ姫も見に 行こうぜいっ

(注) 寒々渡り　寒い冬の夜など、雪の表面が氷って、どこまでも歩いていけることをアタゴオル地方では、こう申しまする。

これって…
この木？
そう

この木の奴が毎年オレを落とすのさっ

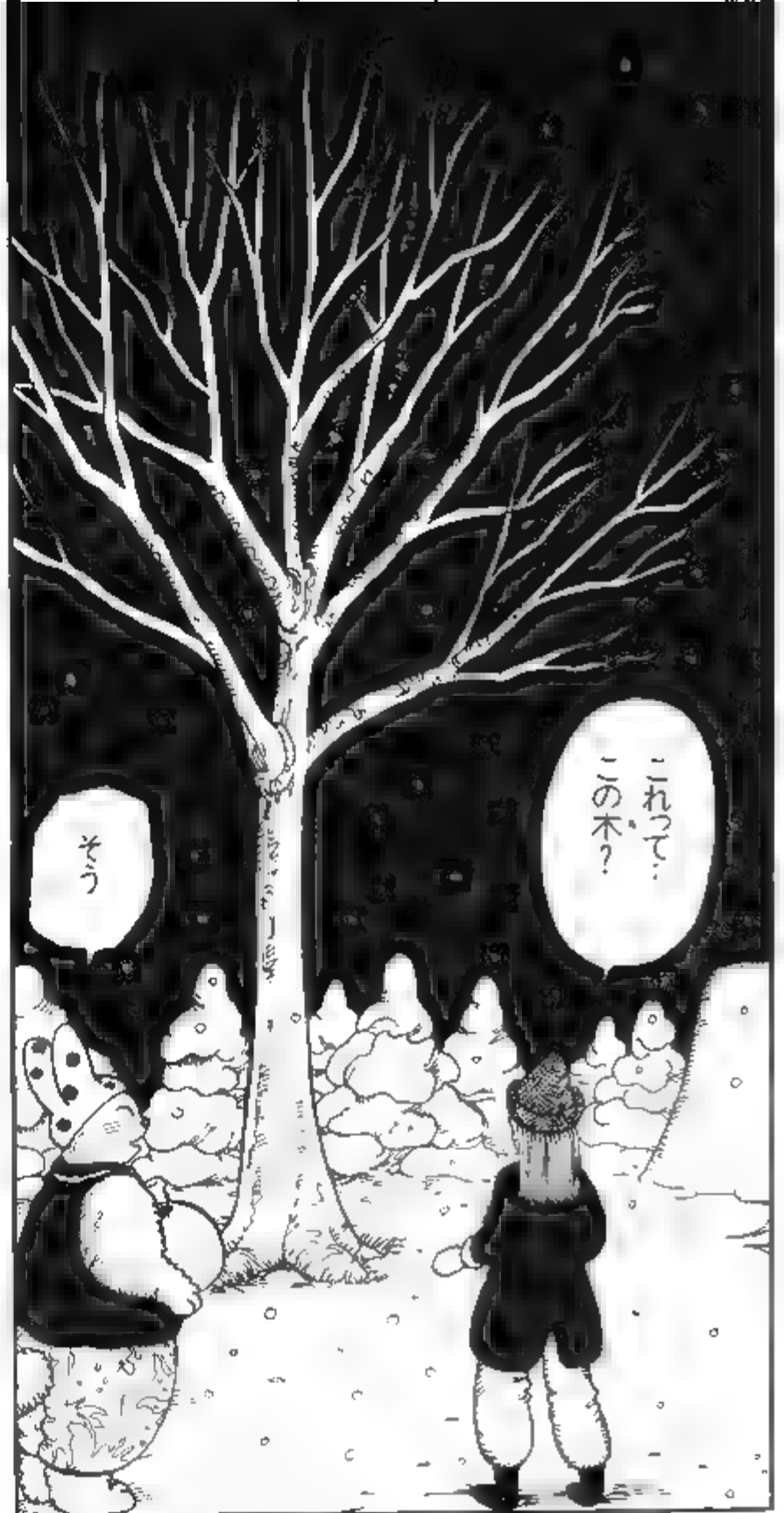
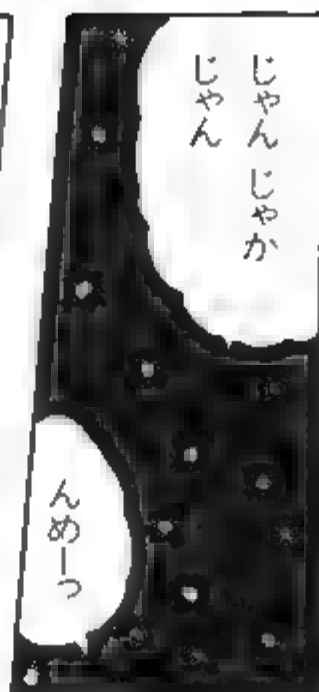
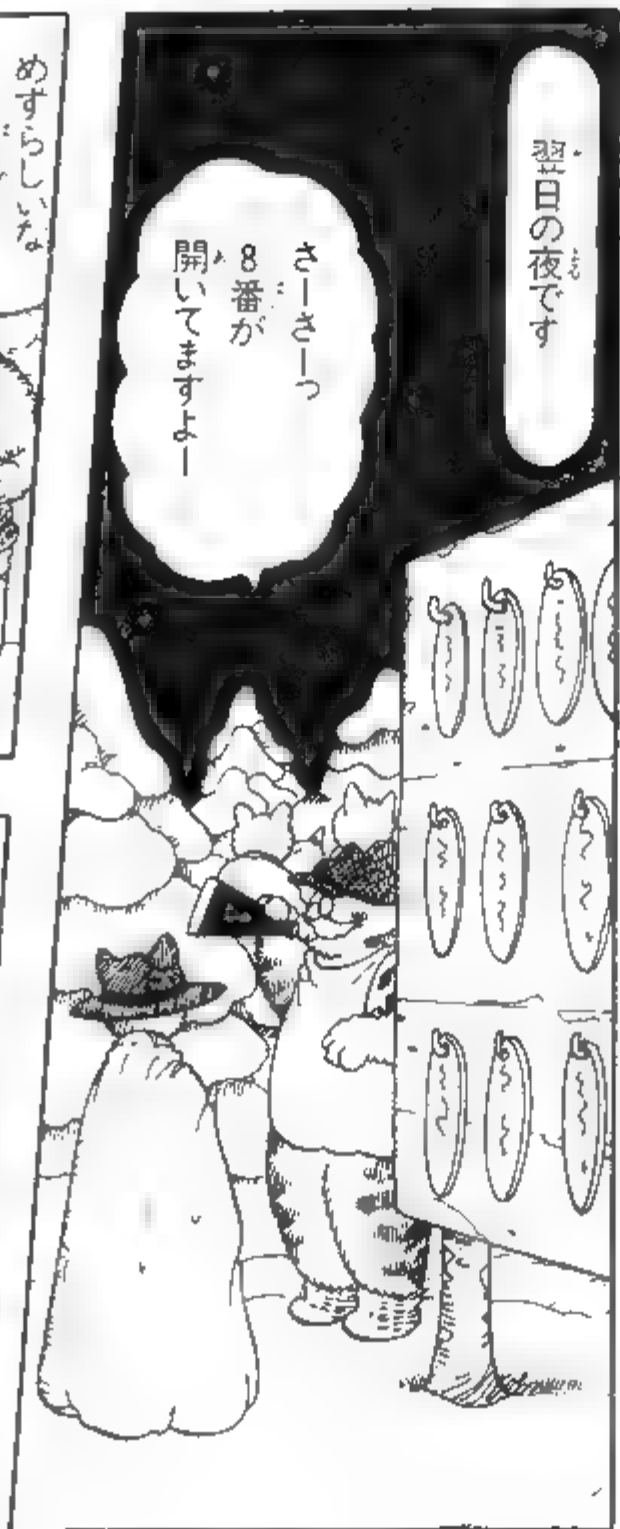
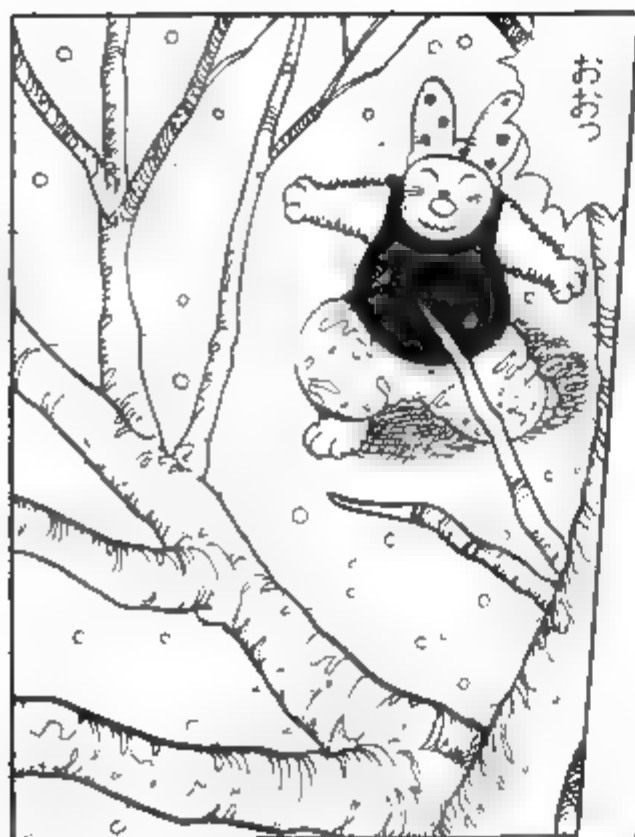
こらっ 冬の木
今年こそオレに賞品よこせ

勝利なんかどーでもいいからオレに賞品くれえっ

フーム どんな審査をするのか楽しみだわ

さて…私は帰って明日の練習をしようかな
あっ、これから練習するの？

ふたりともこんな寒い所でさわいでると風邪ひくぞ
うははオレはひいたことないのさーっ

じゃあね
オー
じゃん じゃか じゃん
んめーっ
ヒデコシくん お酒くれ
ヒデ丸 いけ ぐっと行け
うっ…すごい ニオイだなあ
ぐっ
でっ
オーッ ヒデ丸
だいじょうぶか
あららら 木に浸みこん じゃうわあ

(注) にゃーん　この声をヒテヨンはどんな風に書ったかをききたい方はア・ハード・デイズ・ナイトのイントロをきいてね。

1番目は
欠食ドラネコ団の
みなさんです
どーぞーっ
ぐーぐーっ
オレたちゃ
欠食ドラネコ団
毎年1番目に
わめくデブ猫は
どうしたのかな

やーい
へったくそーっ
魚ドロボーッ
これ!
きたないヤジ
飛ばすなよ
なろーっ
ヒデヨシの
野郎
憶えてろよ
食べても
食べても
腹ペコだっ
さて8番目は
テンプラ・ツキミ姫
パンソ君の演奏
です

じみねーっ

パチパチ
ワーッ
あら うけてる
しかし…今年の優勝はオレなのよねえ
さあ次は25番 森の名物猫
ナソノ・ヒデコンくん です
(★5)
ゴーーッ
おーらいう おーんいずゆう
えびしんかっと びのらいきゅわな どうううううう
びいいかうず
へったくそーっ
あーいあい
親分やかましくて ヤジがきこえませんぜ
すごい音量
まったく あいつの耳は どうなってんだ
あっ
冬の木が…

冬の木が
ふるえてる
ザザッ
ザザッ
ああ

あんな奴ばかり
出てたら
この木、くさっちまうぞ
いんでけい

ジャウン

決まったな
しーーん

今年も落ちたなあ

次は 今年の
優勝候補だぞ
あいつの後じゃ
心が洗われるなあ

うまいなあ
テマリちゃんは
今年は
あの子かな

そういえば
唐あげ丸さんは
どうしたんだいっ？
きのうの飲みすぎで
家の中でのびてたぞ

さて、みなさん
出場者の演奏は
すべて終り
あとは、冬の木からの
発表を待つだけです

でも
私たちの演奏も
いい線いってたよ

オレは
テマリって子
だと思うなあ
テンプラたちか
つり道具屋の
おやじじゃねえか
まちがっても
ヒデヨシでは
ねえなあ

それでは
発表します
植物言語師
ポンカポン氏
おねがいします

イベス
ゼラルンベスッ

今だ
PON

チカ

ドッ

シューーッ

シューーッ

あの枝は…25…
25番は…

ヒッ
ヒデヨシ君が優勝です

キャーー

ありがとう
みんなありがとう
コラーッ
おかしいぞ

インチキだっ
インチキだぞ
ら

変だな
どうしたんだろう
冬の木は…
あれ

1番もです、
あっ…2番、5番も
ららら

みんなの枝に
葉がつきはじめた

冬の木がおかしく
なったんだ
ヒデヨシの唄
まともに聞い
たんじゃないか
親分、オレたちも
優勝ですぜえ

シュッ

新年まであと
10秒

あっ
来たぞ

8、7
キャーッ

銀河新年

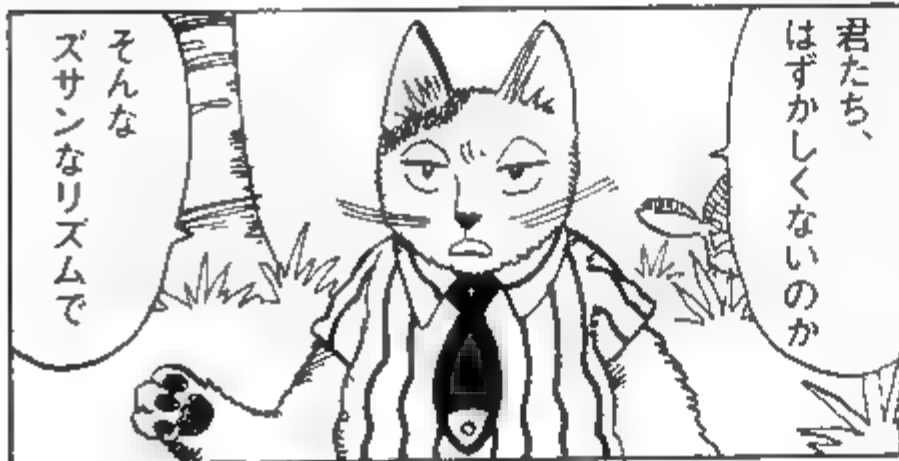
—特別同時収録—

ねんねこランド

プライド猫

南の海のまんなかに
猫ばっかりの島が
あったのです

わぽん
たいゆろう
ブンブン
ドッダド
キャッ
りおん

君たち、
はずかしくないのか
そんな
ズサンなリズムで

ズサンな
リズムとは
なんだよ
君の尾っぽの
動きが
もたっていて
気持ち悪いんだ

あれ
お前こんど
独演会をやる
クッキリとかいう
奴だな

そうだよ
この島の猫が
音楽好きなのは
いいが、まったく
リズム感がひどい

まあ、君も
うまくなりたかったら
僕の腕を見に
きたまえ
では
ねんねこ
くそ〜〜っ
キザなしっぽ
しやがってっ
あいつ
なまいきな
野郎だな
こうなったら
あいつの独演会
不幸にして
やろうぜ
ピンピン なにか
方法があるのか
少々、金が
かかるけんど
あるんだな
その日が
やってきました
けっこう
集めたなあ
重いぜ
これじゃ
前に行かないと
とどかないよ
それではただいまより
私、打楽器の名手
クッキリ・坂本の独演会を
はじめます
バドド

バドドドド

うめーーっ
これ かんしんしてないで 始めるぞ

さあさあとっておきの爆弾をおみまいするからねえ
ドドド

あっ

ドド
でど

かっかっかっ

かじ
かじ
ワー
ニャ
ッ

かじき
マグロだっ
オレにも
かじらせろ

ドッ
ドッ

あれーっ
あいつ…よだれ
たらしてるのに
食わないぞ
うわーっ
ガマン
してるんだ！

人間のやること
だぞっ
ニャゴ
ニャ

ガマン…？
なんでガマン
してるんだ!?
とりあえず
食ってから
考えようぜっ
オレにも
なめさせろ
ニャー
ニャー

おい
コラ
ガマンなんてもんは

タダの味

しま鯨の奴
タコメ医者の所へ
行ったたって
ホントか?
ああ、
オレ見たよ
あの家に
入っていくとこ

あそこは毎年、
手術が失敗とかで
死んじゃう奴が
出る所だろう
タコメ先生ってのは
わけのわからん
先生だからな

しま鯨
どこか
悪かったのかな

さがしましたよ
おふたりさん
しま鯨

どーしたんだ
その頭?
袋なんか
かぶって

諸君
これが
これからこの島で
はやる

頭だよっ

あ
ネズミ頭

ミッキーと
よんでくれる?

カッコイーなーっ
タコメ医者で
やったのか?

ああっ
猫銅貨20枚も
かかったんだぜっ
20枚
それやるの
痛かったろうなあ

いや…大きな青いビンの
液体を飲むだけで
袋をかぶり
一晩ねてると
朝にはホラ
ネズミの耳さ

よーーし
オレもやって
もらおう

ビンビン、銅貨
20枚も持ってるのか
ないけど
オレには

勇気があるから

あくる日
先生

どうしたんだ
トト君

これ
見て下さい
あっ

液が……
せっかくワシが
開発した液が
夜中のうちに
だれかが飲んで
しまったらしいんです

……でも、どうして
こんなもの飲んだんで
しょうね

ウーム、どうせ飲むなら
完成した液の方を
飲めばいいのに
こんな原液を飲んじまって
…たいへんだぞ、そいつ

シャバダ
シャバダ

よーよーっ
見てくれ
よっ
おーっ ピンピン
やったのか?

やったのよ、タダで
夜中に入って
全部飲んだのさ

タダで全部！
どうりででっかい
袋だなあ

よーっ
早く見せて
くれよ
オレもまだ
見てないんだ
いいか
いくぜ

さっ
あら

あれ…
元のままだ

おっかしいな
あんなに飲んで
たしかに
体も重いのに

わっ
ああっ
重いわけだ

うっ
タダより
重いものはない

サッカー猫

しま鯨 始まるぞォ
くそ ジーコの ばかやろ

ブラジル万歳
あきらめの悪い奴だなあ
ピンピン いそげ よーっ

しっぽが重いんだ

ワーーッ
イエーーッ

はい 銅貨2枚
ありがと よー
おやじ、ずい分 もうけたな
すんなこと ねえだ
ワシがあのテレビジョンを 海底から引き上げる時は なんぎしたからなあ

ぶっこわれる寸前で これ以上動かせないもんで
こうして海岸に おいてあるんだす

ところでテレビジョンは電気ナマズの力で動いてるって本当か？
なに言ってんの、発電器だよアリマキ博士に作ってもらったんだ
わー
ワールドカップサッカー、いよいよ決勝のキックオフ
おっ始まったぞ

やっぱアルゼンチンの楽勝だろうな
西ドイツは点がとれないからなー
だからしろうとはこまるんだ

西ドイツが勝つのは明白ですよ

あっ
お前はクッキリ坂本

アルゼンチンが負けるわけねーだろう
マラドーナがいるんだぜぇ
そーだそーだ

西ドイツの堅い守りの前ではさすがのマラドーナも身動きとれずにやぶれさるのさ

なんだとっ
ようし、クッキリかけようぜアルゼンチンが勝ったらオレたちにアジのさしみ腹いっぱい10日間!!

いーでしょう
私が勝ったら
オーストラリア
ワインを
5本ですぞ
よーし
バルダーノ
バルダーノ
やった
2−0
決まったな
なんのっ
これからだ
フェラーが
流して
ルンメニゲ
後半28分
西ドイツ
2−1です
どうだ
ゲルマン民族の
根性はっ
くっ
まだー点
あるぜ
あ
みち潮だぞ
ザザーッ
くっそーっ
テレビジョンが
海水に入っちまうよ
大丈夫
そいつはタフだす
ちくしょう
目が痛い
わーっ
フェラー
同点！
西ドイツ同点
なにー
ジャバーッ
まいったかっ
ゲルマン魂！
くそー
ザバッ

二の舞だ
ブラジルの
二の舞だ
ジョーダンじゃ
ねーぞ
水メガネ
安いよ

おやじ
水メガネ

1点入れてくれ
1点!!
行けっ
西ドイツ

わ
やっ
ブル

ゲホ
ゲホゲホ

……しかしまあ
ワールドカップ見て
人間たちが死んだり
する話はあるが

テレビ見てて
おぼれたっつう猫は

この島の奴だけだろうな
うーっ
ブラジル
万歳

ネコジャラシ狩り

植物観測所
さんま丘に大量のネコジャラシが発生した

丘を通ったソバ屋がおかもちをひっくりかえしたり
いろいろと問題が出ている

そこで君たちに刈りとってもらいたいのだ
オレたちにまかして下さい
そうそう

しかしネコジャラシくらいで大さわぎしているようじゃ、この島もなさけねえなぁ
まったくだよ

おう、あれだ
早いとこやっつけちゃおうぜ

ゴク

おい、見つめるな、なるべく見ないで刈るんだよ
ああ

あっ
風だ
ヒュー
ろろろ
にゃん
にゃん
しかし…
だいじょうぶ
なのか
このピンピンに
まかせれば
安心ですよ
諸君
第一次刈りとり隊は
全滅した
オレたちに
まかせて
下さい!!
はっ
申しわけ
ありません

しかし、なさけないなあ
ホント!

先に行ったのはしま鯨だろう
あいつ 割と単純だからなあ

けっこうはえてんな
よし、いいか目をつぶって刈るんだ

そうかっ、目さえつぶれば
ああっ こんなネコジャラシ楽なもんさ

サコッ

おっ

風だ……風が吹いてきた

ゆれてんだろうな…ネコジャラシ

いで
ガッ
にゃんにゃん
おいピンピン
おもしろいんだーっ
うっ
あ〜〜〜っ
なんでこんなにネコジャラシって

子守歌

しかし、おとといの嵐はすごかったなあ
ザーッ
灯台の話だと、沖の方で人間たちの乗った客船が沈んだらしいよ

それで乗組員は助かったのか？
だめだろうあの嵐じゃ

あっ
うっ

流れついたんだ
あららまだ赤ん坊じゃないか

フーンけっこうかわいい顔してるもんだな
なあ、ピンピンどうしよう

ほっとくわけには
いかないだろ

ねーね

おっ 少し
しゃべるぞ

ねーね

そうだ、笑わせるんだ
何かやってみな
よし、オレ
こういうの
うまいんだ

みゃおーん

ギャー

バカ
泣かせて
どうするんだ
あらっ
まいったなあ

そうだ、この子
腹へってんじゃ
ないか
ミルクか
よし待ってな
オレが買ってくる
ギャーッ

ギャー
やかましいなあ…

この子、眠いんじゃないか？
眠い？

ギャーッ
おっ重い…

泣きやまないぞ…
歩きまわるんだよ子守歌を歌って歩きまわるんだ

そういえばオレの家に古いオモチャがあったな
よし、オレとってくるわっ
おいコラ

ギャー

おおよしよし
ギャ

鯨の子供はグーグーグー
猫の子供もネンコロリン

ダア…ダア
あっ泣きやんだぞ

よし、みんながもどるまで
ねかしてしまおう
子守歌は
眠たそーに歌うのが
コツなんだよな

眠いうさぎの
赤い目は〜っ

ハア
ハア

おーいミルクだ
あったかいミルクだぞーっ

は？

何やってんだ
ビンビンの奴…

ぐーっ
ぐーっ

ねーね

星の浜辺で

どうして
夜空ガニって
名前かって？

そう、
我が父上ときたら
ねんねこ島にいる
生物の名前を
調べていたら
悩んじゃってね

夜空ガニねえ

あら、
それ、どうしたの？

きのう家の裏で
子供が遊んでいたのを
もらったんだ
でもそれ
星の浜辺の小石じゃない？

あっ
…そっか
どっかで
見たと思ったら

あそこの小石は
勝手に持ってきちゃ
だめなんだよな
そうよ
返した方が
いいわね

これから行くと
ちょうど
陽が沈んでるなあ

おっ
うわさをすれば
夜空ガニだ
父上は、この名前のことで悩んでるわけか
猫なで酒も飲まずに考えているのよ
そういえば、最近は少なくなったけど
昔はこの浜辺にはずいぶんいたよなあ
うん…
しかし…ここはいつ見てもきれいだねえ
ねんねこ島の七不思議のひとつだよな
夜空の銀河と同じ形に砂浜が輝くんだから…
ときどきここを歩いてると銀河を歩いているような気分になるよ
ねえビンビン、この小石のならびはなんなの

これはケンタウルス座だよ

ホラ、空ではあのあたり

フーン

あっ流れ星
んっ

あれ
…偶然かな

流れ星って見ていると息が止まるねえ！
こんどは…マゼラン星雲の方に行くぞ…

あっ

どうしたの
…そうか

夜空ガニって名前のわけは
たぶんこの浜辺で、カニの動きを見ることなんだ

え？・
どういうこと？・
いいかい
このカニの動きを
見ててごらん
ええ
スーッ
南十字星を
横切っていくよ
さあ
いそいで
南十字を
見るんだ
流れ星
あっ

初出

P.13~124／月刊MOE（偕成社刊）'86年7月号、'86年9月号~'87年2月号
P.125~151／猫の手帖（猫の手帖社）'86年7月号~12月号
P.1、2、6、8／王様手帖（アド・サークル）
P.4／INFAS（流行通信社）'84年

ビートルズ曲あてクイズ

★1／You're going to lose that girl(P.27)
★2／One after 909(P.61)
★3／Help(P.84)
★4／I want to hold your hand(P.86)
★5／Dig a Pony(P.117)

アタゴオル玉手箱——3

発行　一九八七年五月　一刷
作者　ますむら　ひろし
発行者　茂木恭輔
発行所　（株）ケイエス企画
〒162東京都新宿区市ヶ谷砂土原町3—5
電話　（〇三）二六〇—三二三〇
発売所　（株）偕成社
〒162東京都新宿区市ヶ谷砂土原町3—5
電話　（〇三）二六〇—三二二一
印刷　大日本印刷（株）
製本　文勇堂製本

152p. ISBN4-03-014060-2 C0093

Published by KS Planning, Printed in Japan.
定価はカバーに表示してあります。
落丁本・乱丁本はお取替えいたします。